

「アニマル・セラピー」の現状と専門用語

株式会社アニマルアシステッド

代表取締役 今木康彦

▶獣医師

▶アニマル・セラピー・プロデューサー

▶獣医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）

このたび JSAVA NEWS に掲載の場をいただき心より感謝いたします。「アニマル・セラピー」の専門家としてこだわった念願の「会社」を平成 28 年 6 月に起業しました。なぜこだわったのか？それは、動物を介して人を援助し、人も動物も笑顔にしたいという願いから、料金をいただき継続と責任をもったサービスを提供したかったこと、私自身が常に実践家でありたいことからでした。

これから掲載する内容は、「アニマル・セラピー」に関することで、一般論も述べていきますが、「アニマル・セラピー」の真の意味での魅力とその可能性を伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 「アニマル・セラピー」の現状

「アニマル・セラピー」という言葉を投げかけると、「癒し」「動物との触れ合い」「お年寄り」「施設への訪問」「ボランティア」などを連想する答えが多く返ってくるようになってきた。これらの言葉は、日本の「アニマル・セラピー」の現状をよく表しており、「アニマル・セラピー」という言葉が国内で広く普及してきているものといえよう。

日本の多くの地域で、高齢者施設を中心に犬などの動物とともに飼い主がボランティア活動として施設を訪問し、利用者との触れ合いをすることで楽しいひとときを過ごす活動が行われている。最近では、高齢者とペットが同居できる施設が出てきたり、小児科病棟へ犬が訪問したり、さらには病院に勤務するセラピー犬も存在している。これらの施設や病院などでは、人が動物と触れ合うことで表情の変化が現れるなどの効果がみられ、それらの効果は施設や病院の職員からも高く評価されている。

しかし、笑顔が見られない高齢者が犬と触れ合ったとたんに笑顔を引き出してしまうため、犬がまるで薬の効果のごとくみられてしまい、犬だけを触れさせておけばいい効果が得られると短絡的に思われているところがあるのも現状である。

2. 「アニマル・セラピー」という言葉

「アニマル・セラピー」という表現を直訳するならば、「動物に対する療法」となり、例えば虐待されていた犬を人ともう一度いい関係にすることなどが当てはまる。しかし、日本で実施されている「アニマル・セラピー」の多くの場合は、人に対して行われている。つまり、「アニマル・セラピー」という言葉は、日本特有の表現であり、造語である。

「アニマル・セラピー」の専門家らは、専門用語として、「動物介在介入」という総称があり、その中に一般的な方法として①「動物介在療法」②「動物介在活動」③「動物介在教育」の3つがある。

【動物介在介入】

Animal Assisted Interventions (AAI)

アニマル・アシステッド・インターベンション

▶治療的または改善的なプロセスないし環境の一部として動物を意図的に含めるまたは組み入れるあらゆる介入をいう。

日本では、「アニマル・セラピー」という造語で普及している。

①動物介在療法

Animal Assisted Therapy (AAT)

アニマル・アシステッド・セラピー

▶医療および福祉の専門家が患者や利用者に対して作成する治療等のプログラムの中に意図的に動物を取り入れたものをいう。アセスメント、計画、実施、評価をしていく。

②動物介在活動

Animal Assisted Activities (AAA)

アニマル・アシステッド・アクティビティ

▶レクリエーションやボランティア活動の中に意図的に動物を取り入れたものをいう。生活の潤いや楽しみなどを引き出し、意欲を高めるなど、QOL（生活の質）を向上させるために行われる。

③動物介在教育

Animal Assisted Education (AAE)

アニマル・アシステッド・エデュケーション

▶主に子どもを対象にした教育プログラムの中に意図的に動物を取り入れたものをいう。

*これ以降、専門用語を使うこととする。

日本で多く行われている「アニマル・セラピー」といわれているものは、ほとんどが「動物介在活動」といわれるものである。そういった意味では、「アニマル・セラピー」は総称である「動物介在介入」というよりも「ボランティア活動」「動物介在活動」の意味に近い言葉として使われている傾向が強いかもしれない。

動物介在介入は、人が人に対して直接関わり合う関係に動物を介在させるという三角関係を基本としている(図)。その動物を介在させることによって、人の心身の状態を向上させたり、維持させたり、緩和させたりする。

よって、人が人に関わる時にどのように動物を「介在」させるかがとても重要となる。「介在 (Assisted、アシステッド)」という言葉は、動物介在介入のプログラムにおいて重要な意味合いを持つキーワードなのである。

《動物介在介入の基本的な考え方》

